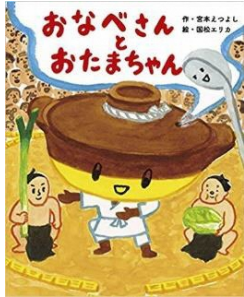


わくわく

2月号

本だな

1 2 3 年



E 『おなべさんとおたまちゃん』

宮本えつよし／作 国松エリカ／絵 教育画劇

おなべさんとおたまちゃんは、なべで人を幸せにする旅のちゆうです。今日はおすもうさんに、〈ちゃんこなべ〉を作ろう。おすもうさんがはらぺこだと聞いて、商店がいのみんなが肉や魚を持ってきてくれました。

えほん

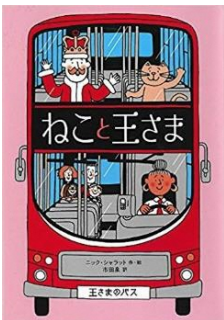
K913 『はるかちゃんが、手をあげた』

服部千春／作 さとうあや／絵 童心社

2組のほとんどの人は、はるかの声を聞いたことはありません。返事のかわりにうなずいたり、首をふったりするからです。

でも、はるかがきゆう食の時間に手をあげました。かぜで休んだあきらかに、あまったゼリーを持っていきたいと言うのです。

ものがたり



K933 『ねこと王さま』

ニック・シャラット／作・絵 市田泉／訳 徳間書店

王さまとねこは、りっぱなおしろに住んでいました。ところがドラゴンのせいでおしろがもえて、小さな家に引っこします。

フリーマーケットへほりだしものの家具や食つきをさがしに行きますが、王さまには物のねだんがちっともわかりません。

ものがたり

K457 『もしも恐竜とくらしたら』

山本省三／作 本田隆行／監修 WAVE出版

〈ステゴサウルス〉とくらしたら、どんなかな？たとえばごはんは、1日にトラック1台分の葉っぱ。ゴジラみたいにギザギザしたせ中の板はデッキブラシできれいにあらいましょう。大きな木がたおれてきても、とげのあるしっぽではねとばしてくれるよ。

ちしきのほん



わ く わ く

2月号



本 だ な

4 5 6 年



物語

K913 『 ぼくたちのだんご山会議 』

おおぎやなぎちか／作 佐藤真紀子／絵 汐文社
だんご山にテーマパークができることが分かり、樹のクラスは大喜び。ジェットコースターに乗るのが楽しみだと言う子もいるけど、自然を残すことだって大事です。賛成か、反対かで、とっくみあいのけんかになってしまいました。

そんな時、先生のていあんで、クラスのみなでだんご山に登山へ行くことになりました。

物語

K913 『 とんりのアブラくん 』

黒川裕子／作 宮尾和孝／絵 講談社
晴夜はパキスタンから転校してきたアブラくんのお世話係になりました。日本語を話せないアブラくんと、どうやって仲よくなればよいのでしょうか。

おまけにアブラくんが信じるイスラム教にはたくさんの決まりがあって、1日5回もおいのりしたり、みんなと同じ給食を食べなかつたり。晴夜はワガママだなと思います。

ちしきの本

E 『 絵本江戸のたび 』

太田大輔／作 講談社
江戸時代の人のいちばんの楽しみは、三重県にある伊勢神宮をお参りすることでした。東京から2週間、歩いて旅をします。早朝、日本橋を出発すると、海が見える人気の品川宿で一休み。富士山に近い箱根の関所では、役人に手形を見せます。船で伊勢湾をわたったら、ようやく伊勢神宮にとう着です。

江戸時代の旅の様子がわかります。

図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200